

2. d-クロルフェニラミンマレイン酸塩

ヒスタミンH₁受容体遮断薬。H₁受容体を介するヒスタミンによるアレルギー性反応(毛細血管の拡張と透過性亢進、知覚神経終末刺激によるそう痒など)を抑制する。クロルフェニラミンのH₁受容体遮断作用の殆どはd体によるので、dl体に比して約2倍の効力を有する。

【有効成分に関する理化学的知見】

●ベタメタゾン

一般名：ベタメタゾン (Betamethasone)

化学名：9-Fluoro-11 β ,17,21-trihydroxy-16 β -methylpregna-1,4-diene-3,20-dione

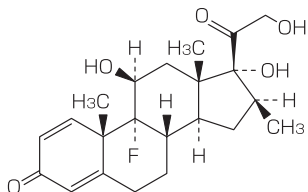
分子式：C₂₂H₂₉FO₅

分子量：392.46

融点：約240℃(分解)

性状：白色～微黄白色の結晶性の粉末である。メタノール、エタノール(95)又はアセトンにやや溶けにくく、水にほとんど溶けない。結晶多形が認められる。

構造式：



●d-クロルフェニラミンマレイン酸塩

一般名：d-クロルフェニラミンマレイン酸塩 (d-Chlorpheniramine Maleate)

化学名：(3S)-3-(4-Chlorophenyl)-N,N-dimethyl-3-pyridin-2-ylpropylamine monomaleate

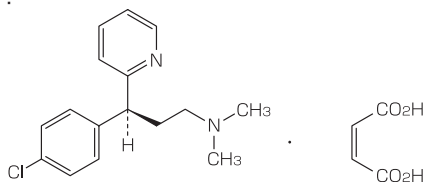
分子式：C₁₆H₁₉ClN₂ · C₄H₄O₄

分子量：390.86

融点：111～115℃

性状：白色の結晶性の粉末である。水、メタノール又は酢酸(100)に極めて溶けやすく、N,N-ジメチルホルムアミド又はエタノール(99.5)に溶けやすい。希塩酸に溶ける。

構造式：



【取扱い上の注意】⁴⁾

安定性試験結果の概要

長期保存試験(25℃、3年3ヵ月)の結果、プラデスミン配合錠は通常の市場流通下において3年間安定であることが確認された。

【包装】

プラデスミン配合錠

PTP包装：100錠(10錠×10)、1,200錠(10錠×120)

【主要文献】

- 1) 武田テバファーマ(株)社内資料(生物学的同等性試験)
- 2) 武田テバファーマ(株)社内資料(溶出試験)
- 3) 第十七改正日本薬局方解説書
- 4) 武田テバファーマ(株)社内資料(安定性試験)

【文献請求先・製品情報お問い合わせ先】

主要文献欄に記載の文献・社内資料は下記にご請求下さい。

武田テバファーマ株式会社 武田テバDIセンター

〒453-0801 名古屋市中村区太閤一丁目24番11号

TEL 0120-923-093

受付時間 9:00～17:30(土日祝日・弊社休業日を除く)

販売

武田薬品工業株式会社
大阪市中央区道修町四丁目1番1号

製造販売元

武田テバファーマ株式会社
名古屋市中村区太閤一丁目24番11号

PQM63904
PQM86704
04